

🌈 みんなが幸せになるための選択、そのためにまず自分ができる選択

みんなが幸せになるために、課題は山積みかもしれないが、少しずつでも進まないと変わらない。だから私は、まず自分ができる選択をする。塵も積もれば山となる。

そして、同じ思いの仲間を探す。一人の一步よりみんなの一步。

🌈 選択する前に考える ～人生二度の転機～

私たちは毎日たくさんの選択をしている。意外と何気なくしている選択も多い。当たり前のように毎日を送っていた私が経験した二度の転機。それは…

モザンビーク滞在 (2010年)



出産、育児 (2018年～)



人生初めてのアフリカ、モザンビーク。百聞は一見に如かずとはこのことか。全身でたくさんのことを吸収した。「これから私にできることは何!？」その問いが頭を離れなかった。限られた物を大切に使うモザンビーク。たくさんの物から選択できる日本。互いの良さと捉えるならば、私にできることは、「選択する前に考える」ということ。選択した物の背景を考えたり、選択した物を使った先のことを想像したりすることを心がけている。

2018年10月、長女出産。2021年3月、次女出産。長女の離乳食がきっかけで、「食」の選択への考え方が変わった。「元気な身体をつくるためには?」「身体がよくなるって何?」ただお腹が満たされる食をしていた自分に疑問が湧いた。一時は情報があふすぎて何が正しいのか分からなくなっていた。しかし、様々な方に出会い、互いに話さず、自分なりの答えが見つかった。それは、「自分にとって心地よいバランスで、楽しみながら続けることができる選択」ということ。

🌈 無理なく、ありがたく、最後まで

小学校教師を目指してがむしゃらに動いた大学4年間。ESDに出会った。教師になれた嬉しさを胸にチャレンジし続けた約7年間。我が子の子育てに没頭した約5年間。そして、復帰後、自分らしい教育への関わり方を探った約1年間。私は日々の様々な選択において、SDGsを意識することが多い。「簡単、便利、早い」を優先してしまうこともあるが、みんなが幸せになるためには、「無理なく、ありがたく、最後まで」が物事を選択する際のキーワードになると考える。

「本物に触れる機会」と「つながり」を大切にしながら、これからも自分にできることを探り続けたい。

